

テストツール

A-L i n k . D L L

目 次

第1章 デジタル入出力ユニット

- 1-1 表示画面と各部概要 1-1
- 1-2 操作手順 1-1

第2章 アナログ入出力ユニット

- 2-1 表示画面と各部概要 2-1
- 2-2 操作手順 2-1

第3章 位置決めユニット

- 3-1 表示画面と各部概要 3-1
- 3-2 操作手順 3-2

第4章 エンコーダ・カウンタユニット

- 4-1 表示画面と各部概要 4-1
- 4-2 操作手順 4-1

第5章 シリアルユニット

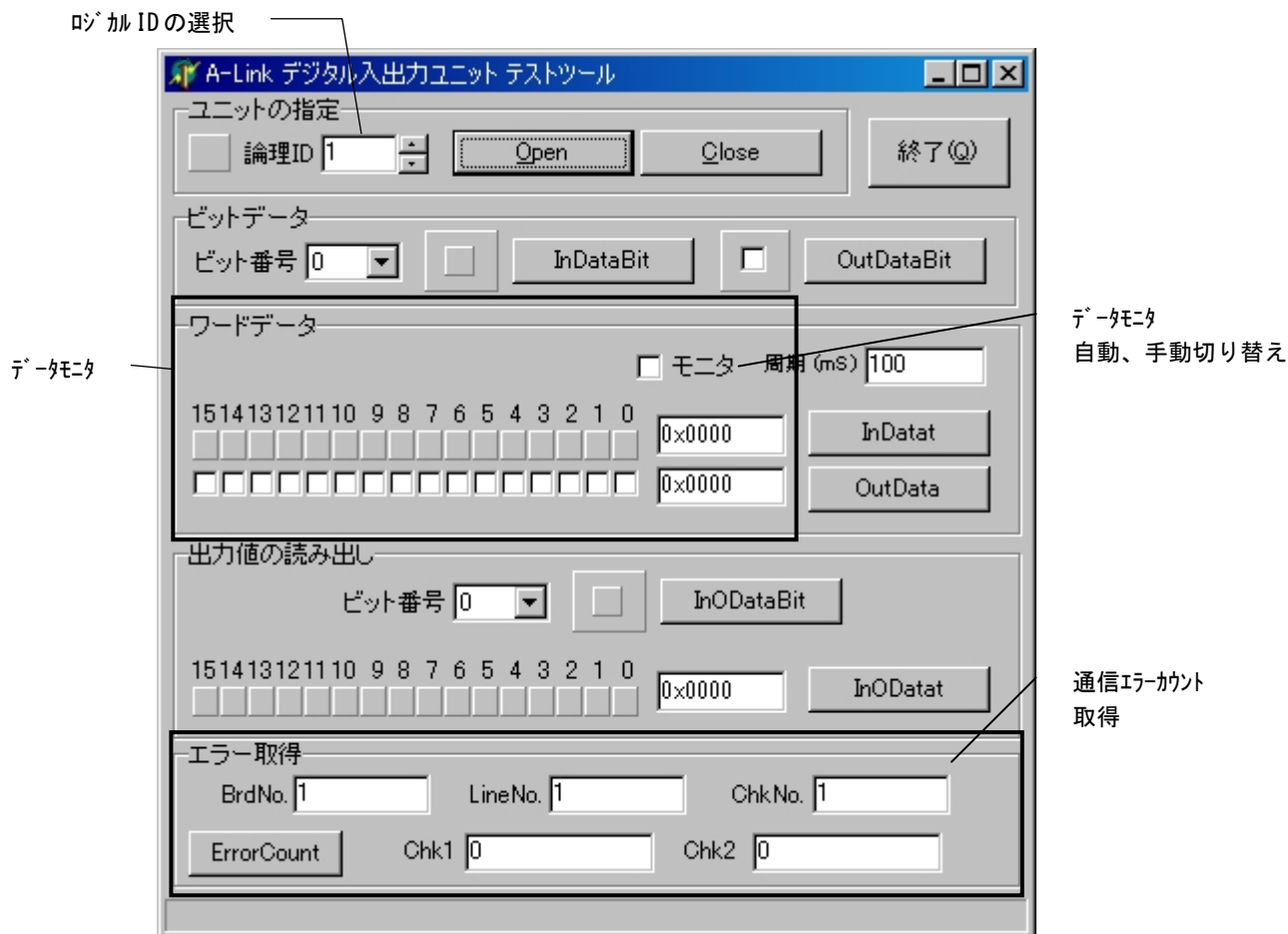
- 5-1 表示画面と各部概要 5-1
- 5-2 操作手順 5-1

第6章 ちび丸君 アナログ入出力ユニット

6－1 表示画面と各部概要	6－1
6－2 操作手順	6－2

第 1 章 デジタル入出力ユニット

1-1 表示画面と各部概要



1-2 操作手順

- 1) デジタル入出力ユニットを使用するために初期設定ファイル (ALink.ini) を作成します。
(初期設定ファイル作成については、ALink.ini 設定マニュアルを参照して下さい)
- 2) ロジカル ID を選択し、ユニットのオープンを行います。
- 3) データモニタのチェックボックスは出力データの各ビットに対応しています。
データモニタをチェックすると出力データを作成されます。[OutData] ボタンを押すと関数が実行されます。
- 4) チェックボックスの上のパネルは入力データの各ビットに対応しています。
[InData] ボタンを押すと関数が実行され、入力にしたがってパネルの色が変化します。
- 5) [モニタ] のチェックボックスチェックすると、InData、OutData がボタンの左に示された周期にしたがって実行されます。

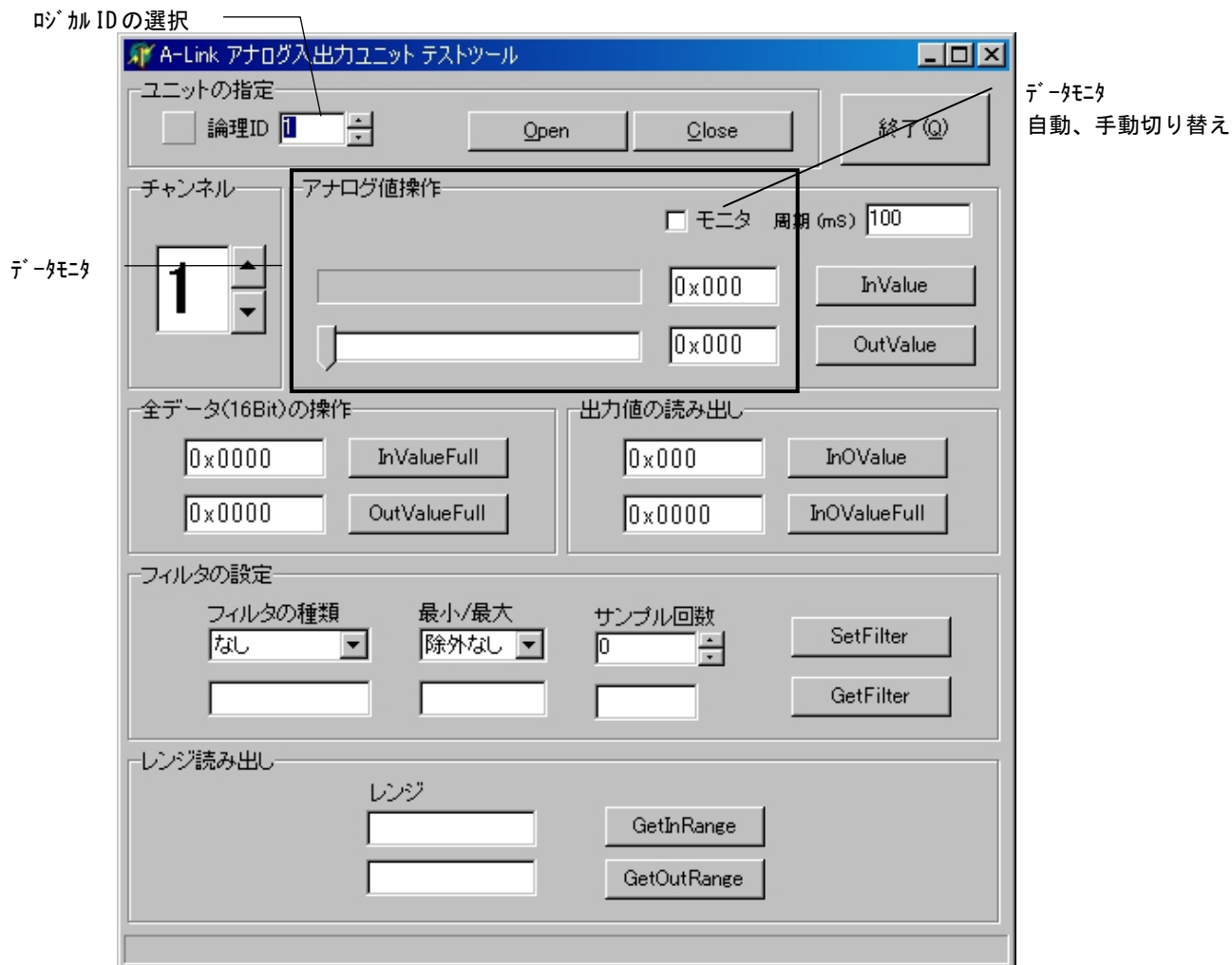
6) [エラー取得] ボタンは通信エラーカウントを取得します。ボード番号、ライン番号、エラー1,2 を選択し、[ErrorCount] ボタンをクリックします。

7) ユニットをクローズします。(終了させる前には必ず行って下さい)

* このテストツールはアルゴ A-Link Windows 用開発基本ソフトをインストールしてできる
「programfiles¥ALGOSYSTEM¥ALinkSDK¥TstALDIO.exe」に保存されています。

第2章 アナログ入出力ユニット

2-1 表示画面と各部概要



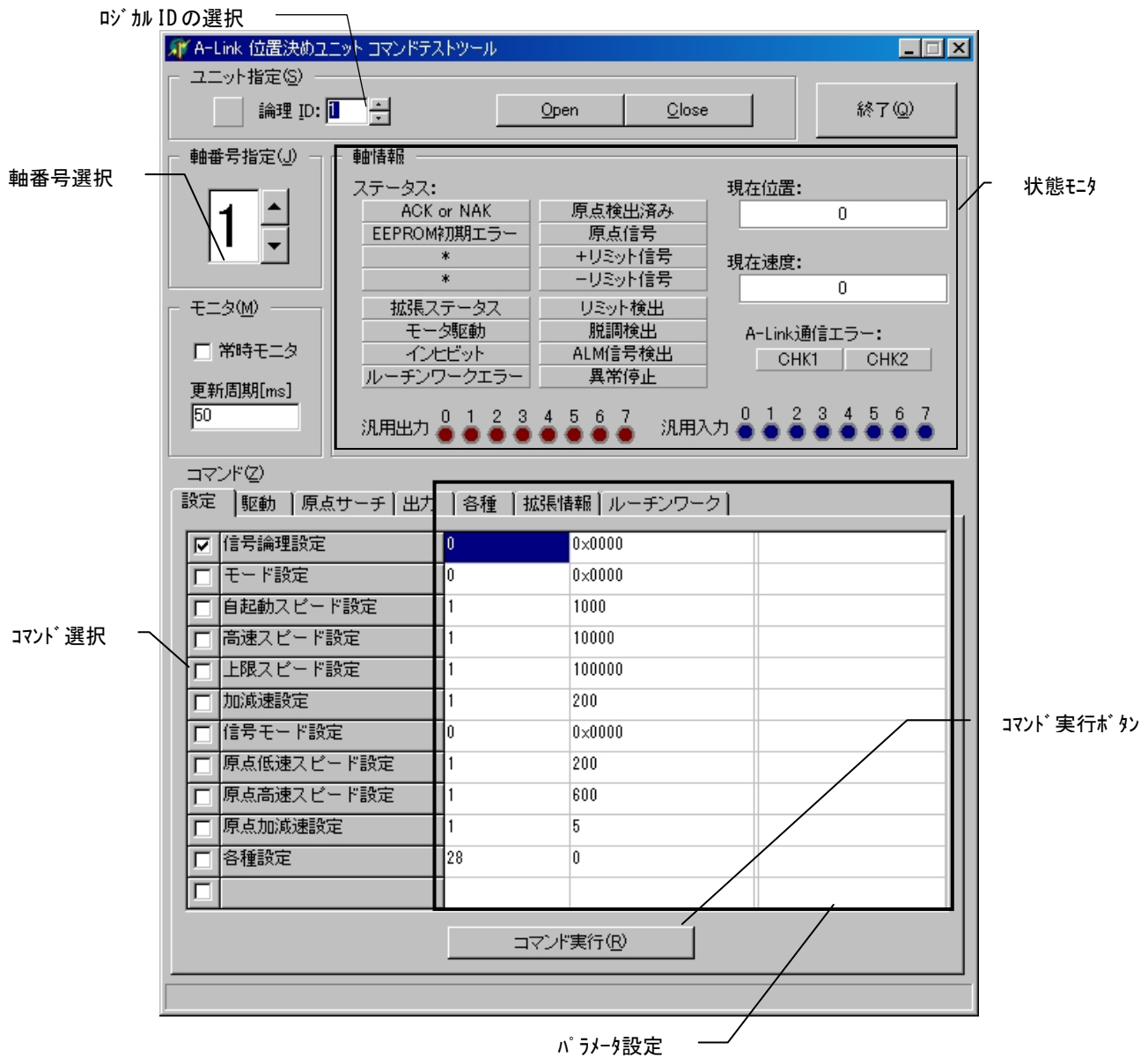
2-2 操作手順

- 1) アナログ入出力ユニットを使用するために初期設定ファイル (ALink.ini) を作成します。
(初期設定ファイル作成については、ALink.ini 設定マニュアルを参照して下さい)
- 2) ロジカル ID を選択し、ユニットのオープンを行います。
- 3) 上ステータスバーは AD 入力値を表示します。
[InValue] ボタンを押すと関数が実行され、入力にしたがってステータスバーが移動します。
- 4) 下スライドバーは DA 出力値を表示します。
スライドバーを移動させ出力データを作成します。[OutValue] ボタンを押すことにより関数が実行されます。

- 5) [モニタ] のチェックボックスをチェックすると、InData、OutData がボタンの左に示された周期にしたがって実行されます。
 - 6) ユニットクローズします。(終了させる前には必ず行って下さい)
- * このテストツールはアルゴ A-Link Windows 用開発基本ソフトをインストールしてできる
「program files¥ALGOSYSTEM¥ALinkSDK¥TstALADA.exe」に保存されています。

第3章 位置決めユニット

3-1 表示画面と各部概要



3-2 操作手順

- 1) 位置決めユニットを使用するために初期設定ファイル (ALink. INI) を作成します。
(初期設定ファイル作成については、ALink. ini 設定マニュアルを参照して下さい)
 - 2) ロジカル ID を選択し、ユニットのオープンを行います。
 - 3) タブシートを選び、目的のコマンドのパラメータを設定します。コマンド選択にチェックを入れ、[コマンド実行] ボタンを押します。
 - 4) 目的の軸に合うように初期化を行って下さい。
 - 5) 軸を駆動させます。
 - 6) 常時モニタ設定で [常時モニタ] をチェックすると、周期的に内部でコマンドを実行し、現在の状態を状態モニタに表示させることができます。
 - 7) ユニットをクローズします。
(終了させる前には必ず行って下さい)
- * このテストツールはアルゴ A-Link Windows 用開発基本ソフトをインストールしてできる
「program files¥ALGOSYSTEM¥ALinkSDK¥TstALAXSA.exe」に保存されています。

第4章 エンコーダ・カウンタユニット

4-1 表示画面と各部概要



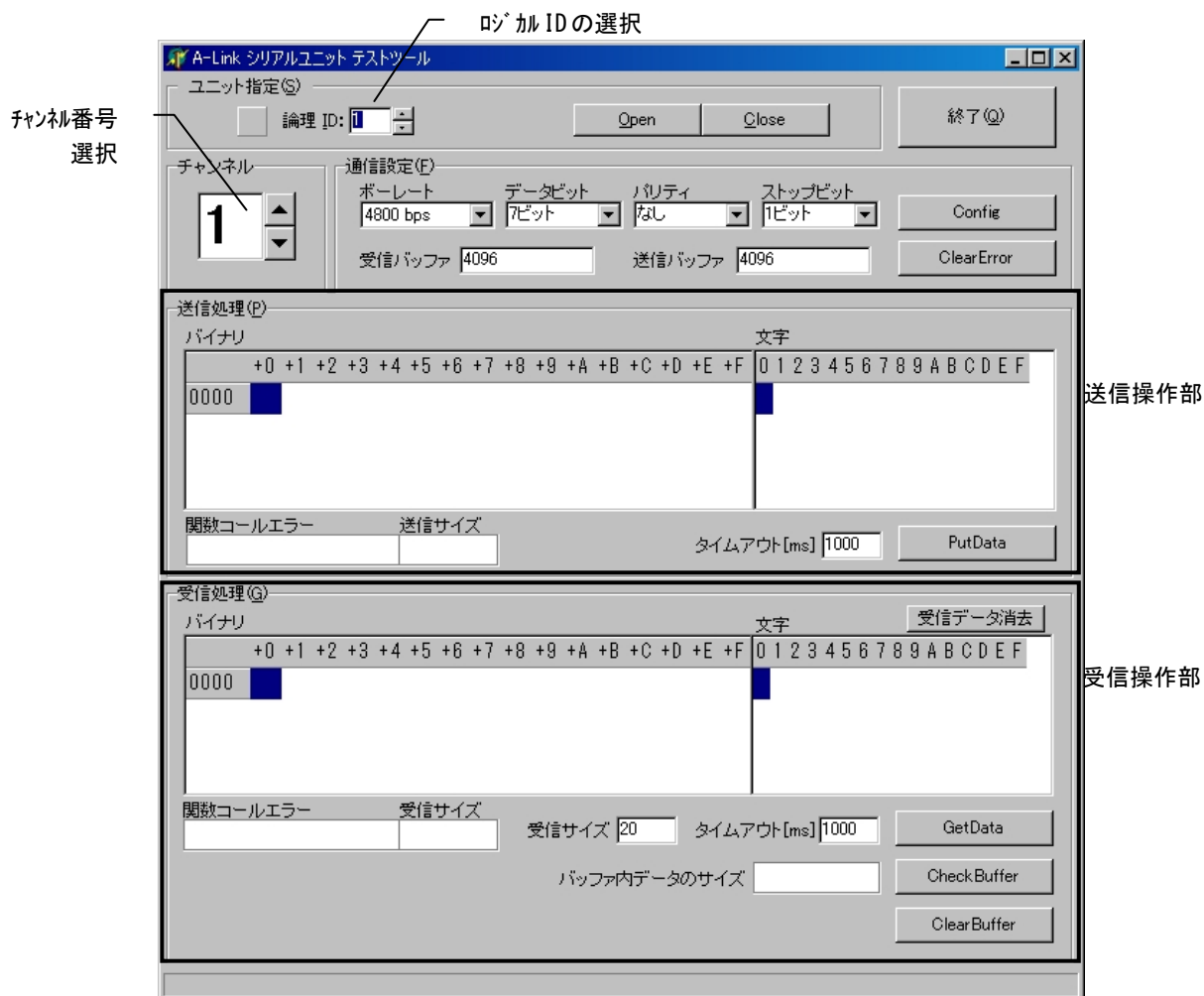
4-2 操作手順

- 1) エンコーダ・カウンタユニットを使用するために初期設定ファイル (ALink.INI) を作成します。
(初期設定ファイル作成については、ALink.ini 設定マニュアルを参照して下さい)
- 2) ロジカル ID を選択し、ユニットのオープンを行います。
- 3) コマンド操作部でコマンドを選択しパラメータを選択し [PutCmd] ボタンを押してユニットにコマンドを送信します。
実行終了とともに取得されたステータス、データが表示されます。
- 4) [モニタ] をチェックすると周期的に現在位置を取得し、結果を表示します。
- 5) ユニットをクローズします。
(終了させる前には必ず行ってください。)

* このテストツールはアルゴ A-Link Windows 用開発基本ソフトをインストールしてできる
program files¥ALGOSYSTEM¥ALinkSDK¥TstALAENC.exe
に保存されています。

第5章シリアルユニット

5-1 表示画面と各部概要



5-2 操作手順

- 1) シリアルユニットを使用するために初期設定ファイル (ALink.INI) を作成します。
(初期設定ファイル作成については、ALink.ini 設定マニュアルを参照して下さい。)
- 2) ユニットのオープンを行います。
- 3) シリアル通信の通信設定を行います。これにより、送受信の準備が整います。
- 4) 送信操作部のバイナリ、文字エディタにデータを入力します。
[PutData] ボタンを押すとエディタに入力されたデータが送信されます。
- 5) 受信操作部で受信サイズを指定し、[GetData] ボタンを押すと、受信バッファからデータを取得します。
取得したデータはバイナリ、文字エディタに表示されます。

6) ユニットをクローズします。

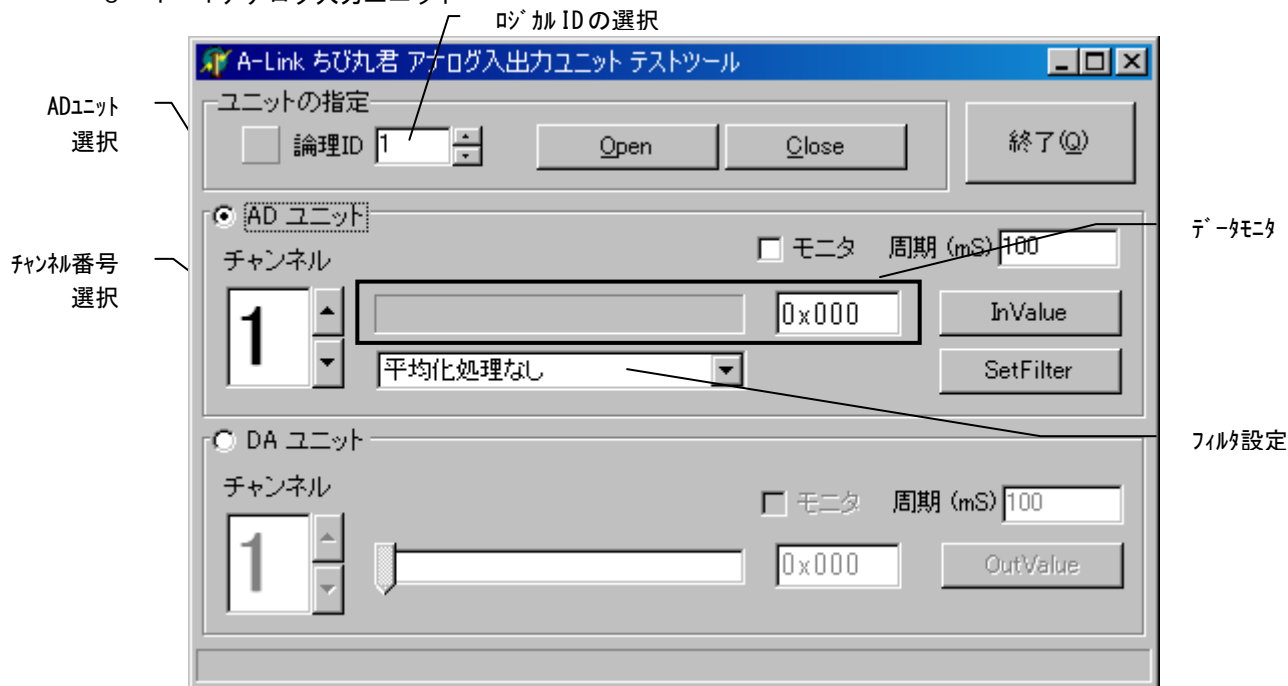
(終了させる前には必ず行って下さい)

- * このテストツールはアルゴ A-Link Windows 用開発基本ソフトをインストールしてできる
「program files¥ALGOSYSTEM¥ALinkSDK¥TstALSIO.exe」に保存されています。

第6章ちび丸君 アナログ入出力ユニット

6-1 表示画面と各部概要

6-1-1 アナログ入力ユニット



6-1-2 アナログ出力ユニット



6-2 操作手順

6-2-1 アナログ入力ユニット

- 1) ちび丸君アナログ入力 (AD) ユニットを使用するために初期設定ファイル (ALink.ini) を作成します。
(初期設定ファイル作成については、ALink.ini 設定マニュアルを参照して下さい)
- 2) ロジカル ID を選択し、ユニットのオープンを行います。
AD ユニットを選択し、AD ユニット操作部分を有効にします。
- 3) [データモニタ] のステータスバーに AD 入力値が表示されます。
[InValue] ボタンを押すと関数が実行され、入力にしたがってステータスバーが移動します。
- 4) [フィルタ設定] でフィルタ種を選択します。[SetFilter] ボタンを押すとフィルタ設定が実行されます。
- 5) [モニタ] チェックボックスをチェックすると、InValue 処理が左の横の周期設定にしたがって実行されます。
- 6) ユニットをクローズします。
(終了させる前には必ず行って下さい)

6-2-2 アナログ出力ユニット

- 1) ちび丸君アナログ出力 (DA) ユニットを使用するために初期設定ファイル (ALink.ini) を作成します。
(初期設定ファイル作成については、ALink.ini 設定マニュアルを参照して下さい)
- 2) ロジカル ID を選択し、ユニットのオープンを行います。
DA ユニットを選択し、DA ユニット操作部分を有効にします。
- 3) [データモニタ] のスライダーを用いて DA 出力値を設定します。
[OutValue] ボタンを押すと関数が実行され、出力処理を行います。
- 4) [モニタ] チェックボックスをチェックすると、OutValue 処理が左横の周期設定にしたがって実行されます。
- 5) ユニットをクローズします。
(終了させる前には必ず行って下さい)

- * このテストツールはアルゴ A-Link Windows 用開発基本ソフトをインストールしてできる
「program files¥ALGOSYSTEM¥ALinkSDK¥TstALADAC.exe」に保存されています。

このマニュアルについて

- (1) 本書の内容の一部または全部を当社からの事前の承諾を得ることなく、無断で複写、複製、掲載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容に関しては、製品改良のためお断りなく、仕様などを変更することがありますのでご了承下さい。
- (3) 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたらお手数ですが巻末記載の弊社までご連絡下さい。その際、巻末記載の書籍番号も併せてお知らせ下さい。

改訂履歴

日時	バージョン	変更点
2002.04.01	Rev 1.00	初版
2004.02.19	Rev 1.01	A-Link Ver2 通信 IC PCI ボード対応
2004.12.10	Rev 1.02	ちび丸君 デジタル入出力テストツール追加
2005.03.03	Rev 1.10	全面改訂
2006.07.24	Rev 1.11	住所変更(本社)
2007.10.25	Rev 1.12	住所変更
2009.07.30	Rev 1.13	ロゴ変更
2014.02.26	Rev 1.14	住所表記変更